

令和元年6月14日

宮城県公立小中学校長様  
仙台市立小中学校長様  
宮城教育大学附属小中学校様  
宮城県内私立小中学校長様

国立大学法人東北大学  
大学院工学研究科長 長 坂 徹 也  
(公印省略)

令和元年度東北大学サイエンスキャンパス教育セミナー開催について  
(案内)

深緑の候、貴職におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より、『東北大学サイエンスキャンパス』プロジェクトについてご理解・ご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、東北大学サイエンスキャンパスでは、今年度も宮城県内・仙台市内の小学校、中学校の教職員の皆様にご参加をいただき、その時々<sup>1</sup>の教育課題や先端的研究について理解を深めていただく機会として下記のとおり教育セミナーを開催いたします。

つきましては貴職下教職員のご参加についてご高配を賜りますようご案内申し上げます。

記

- |   |       |   |
|---|-------|---|
| 1 | 主 催   | 東北大学工学研究科・工学部創造工学センター   |
| 2 | 後 援   | 宮城県教育委員会、仙台市教育委員会   |
| 3 | 日 時   | 令和元年8月1日(木) 13:30～16:30   |
| 4 | 開催場所  | 東北大学工学研究科・工学部サイエンスキャンパスホール<br>(東北大学青葉山キャンパス中央：仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-04)  |
| 5 | 内 容   | 13:00～ 受付<br>13:30～ セミナー開講式<br>・東北大学サイエンスキャンパスプロジェクト紹介<br>13:35～ 講演<br>・演題 『基礎から学ぶ「プログラミング教育必修化」<br>～小学校から中学校で、何をどう教えたら良いのか～』<br>・講師 宮城教育大学技術教育講座 教授 安藤明伸 氏<br>15:20～ 実習<br>・テーマ 『プログラミングの実際』<br>・講師 宮城教育大学技術教育講座 教授 安藤明伸 氏<br>16:20～ セミナー閉講式 |
| 6 | 対象・人数 | 小中学校教職員40名(先着順)   |
| 7 | 申込み方法 | 7月19日(金)まで <b>ファックス(022-795-7041)</b> で申し込みください。<br>または、東北大学サイエンスキャンパスHP(教育セミナーのページ)より申し込みください。 <a href="https://www.ip.eng.tohoku.ac.jp/campus/">https://www.ip.eng.tohoku.ac.jp/campus/</a>   |
| 8 | そ の 他 | ・持参可能な方はノートパソコン(要WiFi内蔵)をご持参下さい。<br>・昨年度まで使用可能であった来客用駐車スペースが工事のため使用できません。<br>公共交通機関(仙台市営地下鉄東西線)でのご来場をお願いします。  |
| 9 | 問い合わせ | 東北大学工学研究科・工学部創造工学センター サイエンスキャンパス事務局<br>電話 022(795)5047 Email <a href="mailto:tsc@grp.tohoku.ac.jp">tsc@grp.tohoku.ac.jp</a>   |

## 【講師ご紹介】



国立大学法人 宮城教育大学  
技術教育講座 教授 安藤明伸(あんどうあきのぶ)氏 博士(学術)  
昭和48年生まれ 現在46歳

平成14年まで札幌市で中学校技術科教員として勤務されたのち、宮城教育大学へ奉職。  
技術教育講座にて、教育工学的な立場から情報教育、技術教育の指導、研究に従事されています。  
平成31年4月に教授に昇任されました。

スマートフォン、タブレットなどのモバイルデバイスの教育利用や、授業改善・分析手法および分析システムの開発、情報モラル、そしてプログラミング教育に関する教材や指導法について幅広く研究されており、無料電子黒板アプリ「miyagiTouch(ミヤギタッチ)」（宮城県教育委員会公式認定）も開発されています。

近年は、年間約50回の講演、指導助言等と、各方面で先駆的にご活躍され多忙なご日常をお越しになられています。

『学びとコンピュータハンドブック』、『アクティブラーニングで深める技術科教育』、『開隆堂 中学校技術分野 教科書』など、多くを著わされており、最近では学習指導要領の解説に関する書籍を多数出版、執筆されています。

- また、現在
- ・中央教育審議会 情報ワーキンググループ委員
  - ・文部科学省 プログラミング教育実践ガイドの作成委員
  - ・文部科学省 IE-school 事業 企画運営委員会 主査
  - ・文部科学省 ICT 活用教育アドバイザー
  - ・仙台市プログラミング教育部会アドバイザー

などの要職を務めておられます。

## 【講演・実技内容】

演 題：基礎から学ぶ「プログラミング教育必修化」

～小学校から中学校で、何をどう教えたら良いのか～

既に新学習指導要領の移行期間を迎えている中、必修となったプログラミング教育についてイメージが湧かない、何をして良いのか分からない、指導できる自信がない等の不安や不満はありませんか？このセミナーでは、小学校から中学校までのプログラミング教育の概要説明のあと、教育用プログラミング言語を実際に体験し、各学年の授業で具体的に利用するイメージをつかめることをねらいとして実施いたします。

2020年度からのプログラミング教育の導入に際し、先生方がプログラミング教育に対して抱いている不安を解消し、安心して取り組んでいただくために、小学校・中学校各段階におけるプログラミング教育についての基本的な考え方などを、分かりやすく話していただくことで、プログラミング教育のねらいやどのような授業が期待されているのかをイメージしていただく機会といたします。実習時に使用するプログラミング言語は『Scratch』で、中学校での学習に対応した端末間リモート制御まで含めて体験いただく予定となっております。

発第 号  
令和元年 月 日

国立大学法人東北大学  
大学院工学研究科長 長坂徹也 宛て

学校名

校長名



令和元年度東北大学サイエンスキャンパス教育セミナー参加について  
(申込み)

このことについて、下記の通り申込みいたします。

記

### 東北大学サイエンスキャンパス教育セミナー参加申込書

FAX送付先：022（795）7041

(ふりがな) 参加者名			
所属校名			
所属校電話番号			
メールアドレス			
パソコンの持参	① ノートパソコンを持参する    ② ノートパソコンの貸与を希望する		
担当学年		担当教科	
当日に質問したい 事項等があれば記 入してください。			

※ このA4サイズのまま、切り取らずに7月19日(金)までに送信してください。